

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(平成29年度報告)

$$\text{達成率} = \frac{\text{実績値} - \text{現状値}}{\text{目標値} - \text{現状値}} \times 100 (\%)$$

各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	単独事業の取り組み	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見							
											被害金額(千円)				被害面積(ha)												
											対象鳥獣	現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値			達成率						
南小国町 (小国郷鳥獣被害 防止広域対策協 議会)	南小国町	平成27 年度	イノシシ	個体数調整	59頭	南小国町	平成27年6月		・イノシシ捕獲報奨金 5千 円×236頭=1,180千円 ・シカ捕獲報奨金 8千円× 368千円 ・電気柵設置 4,075m ・ワイヤーメッシュ設置 1,540 m		イノシシ	1,040	720	3,397	-737%	5.6	3.9	3.95	97%	イノシシの捕獲頭数 は以前より増加し、本 事業の一定の効果が 見られる。 しかし農作物の被害 金額は目標値、現状 値を大きく上回ってい る。これは山間の農 地を始め遊休農地が 増加していることが要 因の一つと思われる。 これによりイノシシの 活動範囲が拡大し、 今まで被害が無かつ た農地でも被害が発 生している。 対策として電気柵な どを設置する農地も 増えているが、適正な 設置・管理が出来て いないものも多く見ら れる。 今後は捕獲だけの 対策ではなく、有害鳥 獣を寄せ付けない地 域づくりや効果的な電 気柵等の設置・管理 などの防除対策を併 せて実施していく必要 がある。	イノシシ、シカの捕 獲に関しては捕獲数 が増えており、効果が 表れていると感じる。 しかし、イノシシによる 被害金額が増加して いること、捕獲頭数が 減っていないことか ら、早急な対策が必 要と感ぜられる。 捕獲ではイノシシが 減っていない現状であ り、被害金額が増加し ていることから、えづ けを行わないように電 気柵等の設置やワイ ヤーメッシュ、倉庫の 片づけ等が必要であ る。また、正しい電気 柵の設置や管理等の 勉強会を開催するな ど、知識を増やす取り 組みも大切である。 今後は、捕獲・対策・ 勉強会等を併せて、 町全体として取り組ん でいかなければなら ないと思う。 (振興局 清田)						
			ニホンジカ	個体数調整	10頭																						
			イノシシ	個体数調整	54頭																						
		ニホンジカ	個体数調整	11頭							平成28年9月		・イノシシ捕獲報奨金 5千 円×329頭=1,645千円 ・シカ捕獲報奨金 8千円× 424千円 ・電気柵設置 4,560m ・ワイヤーメッシュ設置 1,650 m	・イノシシ捕獲頭数 H26 241頭 H27 303頭 H28 393頭 H29 253頭 ・シカ捕獲頭数 H26 24頭 H27 63頭 H28 67頭 H29 73頭													
		イノシシ	個体数調整	64頭							平成29年5月																
		ニホンジカ	個体数調整	14頭																							

注:被害金額及び被害面積の目標値欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。